

教育研究評議会議事要旨

日時 平成16年 7月13日(火) 13:30~17:10

場所 事務局大会議室

出席者 遠藤(学長・議長), 大関, 中澤, 久慈, 藁科, 佐藤(三), 兼子, 豊川, 山寺, 丹野, 矢島, 石堂, 星野, 佐藤(敬), 佐々木(甚), 宮田, 荒川, 加藤, 佐々木(大), 佐々木(睦), 工藤, 相川, 片野の各評議員

役員陪席者 昆理事(審議事項説明), 三國理事(審議事項説明), 永井監事

監査室陪席者 瀧川室長補佐

事務局陪席者 渡邊総務部長, 吉田総務課長, 千葉財務課長, 松井教務課長, 斎藤入試課長他

配付資料

- 資料1 弘前大学総合情報処理センター教員選考委員会に関する申合せ(案)
- 資料2 平成17年度入学者選抜要項(案)
- 資料3 平成17年度学生募集要項(推薦入学)(案)
- 資料4 平成17年度学生募集要項(特別選抜)(案)
- 資料5 (様式1)
- 資料6 弘前大学人文学部情報マネジメント課程・社会システム課程の名称変更について
- 資料7 教育課程(カリキュラム)新旧対照表
- 資料8 平成17年度概算要求に係る重点事項の概要
- 資料9 弘前大学組換えDNA実験安全管理規程新旧対照表
- 資料10 国立大学法人弘前大学施設環境関連規則等一覧
- 資料11 国立大学法人弘前大学出版会規程
- 資料12 弘前大学出版会運営委員会細則
- 資料13 弘前大学出版会編集委員会細則
- 資料14 弘前大学21世紀教育FD研修会
- 資料15 事務組織改革の基本方針について
- 資料16 21世紀教育センター運営委員会報告要旨
- 資料17 教育・学生委員会(第3回)議事要録(案)
- 資料18 研究・施設マネジメント委員会報告
- 資料19 第4回社会連携委員会議事要旨(案)
- 資料20 入学試験委員会
- 資料21 弘前大学総合文化祭の実施事業(案)

議事に先立ち, 6月8日開催の教育研究評議会議事要旨(案)の確認が行われ, 字句の一部を修正の上, 承認された。

審議事項

- 議題1 弘前大学総合情報処理センター教員選考委員会に関する申合せ(案)について
中澤理事から, 資料1に基づき, 総合情報処理センター教員の欠員補充に伴う選考委員会の設置趣旨, 委員構成等規定内容について説明があり, 審議の結果, 原案どおり了承され, 役員会へ提案することとした。
続いて, 申合せ(案)が了承されたことに伴い, 第2第2号委員(本評議会評議員)

2名(学長,学部長,保健学科長を除く。)の選出が行われ,投票の結果,宮田,荒川の両評議員が選出された。

議題2 平成17年度入試関係要項について

- (1) 平成17年度入学者選抜要項(案)
- (2) 平成17年度学生募集要項(推薦入学)(案)
- (3) 平成17年度学生募集要項(特別選抜)(案)

大関理事から,資料2~4に基づき,平成17年度における入学者選抜,推薦入学及び特別選抜に係る募集要項(案)について,人文学部の教育課程再編計画(一部字句削除)を予告したこと,出願者に対しては健康診断書の提出を求めないことなど各要項(案)の前年度との変更点などの説明があり,審議の結果,原案どおり承認された。

なお,試験日及び合格発表日は,次のとおり。

推薦入学

- ・試験日 人文学部 11月20日(土)
- 教育学部 11月20日(土)・21日(日)
- 医学部の推薦,理工学部及び農学生命科学部 11月26日(金)
- 医学部の推薦 1月29日(土)

- ・合格発表日 各学部とも,推薦が12月3日(金),推薦が2月9日(水)

特別選抜

- ・試験日 人文学部 11月20日(土)
- 教育学部・理工学部・農学生命科学部 11月19日(金)
- 医学部保健学科の社会人特別選抜 11月19日(金)
- 医学部保健学科の帰国子女特別選抜 11月20日(土)

- ・合格発表日 各学部とも,12月3日(金)

報告後議長から,各要項は7月下旬に公表予定であり,公表までは取扱いに注意願いたい旨発言があった。

報告事項

報告1 教員人事について

(1) 教員の採用・昇任

兼子医学部長及び山寺医学部保健学科長から,資料5に基づき,下記教員の採用及び昇任について報告があった。

- | | | |
|---------|-----------------|-----------------|
| 医学部医学科 | 鬼島 宏 (東海大学助教授) | 教授採用(16.8.1 付け) |
| | 大山 力 (秋田大学講師) | 教授採用(16.8.1 付け) |
| 医学部保健学科 | 齋藤久美子 (同保健学科講師) | 教授昇任(16.7.1 付け) |

報告2 学部等のカリキュラム改編について

(1) 人文学部のカリキュラム改編

藁科人文学部長から,資料6に基づき,次のとおりカリキュラム改編の概要について説明があった。

カリキュラム改編の経緯は,現在の課程制を導入した後の教育カリキュラムについての自己点検評価,高等学校側からの聞き取り調査,学部の外部評価,さらには「弘前大学運営諮問会議」による現状評価の結果などを踏まえ,教育課程の見直しを開始したものである。カリキュラム改編の概要は,次のとおりである。

カリキュラムを改編し,情報マネジメント課程を現代社会課程に,社会システム課程を経営経済課程とする。人間文化課程については,現行どおりである。

近年の価値観の多様化・流動化が進む現代社会の問題解決にとって、人文科学的視点は自然科学的視点と同様に重要である。

そのため、学際的・領域横断的知識や多角的視点からのアプローチが求められると同時に、課題解決において専門的かつ具体的で実際的な対応ができる能力を持つ人材が求められる。

高等学校側への聞き取り調査、次いで自己点検評価及び外部評価を行った結果、社会・学生のニーズに対応できる教育プログラム、その教育内容と課程との整合性・系統的履修と一定程度の専門性の確保等についての見直しが必要となった。

この見直しの方向性として、本学部が保有する教育・研究分野の特色を活かし、現行の課程制の長所を維持することを前提にしながら、ニーズに対応した履修上のコースを設定する。課程の教育内容の特色をより明確にし、合わせて高校側から指摘された課程名称の分かりにくさを解消するために、課程の名称を一部改める。各課程に履修上のコースを設定し、各コースにコア科目を配置することによって系統的履修と専門性を確保し、現行の課程制の長所である多角的に配置する関連選択科目の履修とのバランスをとることとした。

具体的には、現行の人間文化課程、情報マネジメント課程及び社会システム課程の3課程を、人間文化課程（文化財論、思想文化、アジア文化、欧米文化の4コース）、現代社会課程（国際社会、社会行動、法学の3コース）、経済経営課程（経済学、経営学、産業情報の3コース）の3課程へ改称再編する。

このような再編により、当該分野に関する基礎的知識・素養を持ち、関連周辺領域への理解力も備えた能力の養成、総合的視点からも問題解決の可能な人材育成等が可能になる。

続いて意見交換等が行われた後、議長から、人文学部のカリキュラム改編については、7月9日までに文部科学省へ提出することを了承し、7月12日の役員会で事後承認を得たこと、カリキュラム改編の詳細については、教育・学生委員会に検討を委ねることとし、問題点を指摘された場合は、人文学部は前向きにその検討を行うこと、この件について、学長、総務担当理事、教育・学生担当理事が調整に当たることにした旨発言があり、了承された。

(2) 医学部保健学科のカリキュラム改編

山寺医学部保健学科長から、資料7に基づき、次のとおりカリキュラム改編の概要について説明があった。

カリキュラム改編の経緯としては、今年度は保健学科設置後4年目で、平成17年3月には最初の卒業生を送り出すことになるが、以前からカリキュラムが過密状態であることが指摘されていた。

このことから、2年程前から見直しに着手し、本年5月末までに改編案をまとめ、7月の本評議会です承を得た上で、8月末までに文部科学省へ提出する予定で改編作業を進めてきた。しかし、大学院の設置作業も同時進行してきたこともあり、作業がかなり遅れた。

カリキュラム改編の主な点は、教育効果が高まるよう配慮し、コア・カリキュラムを設けたこと、授業科目を改善し科目数を縮小したこと（平均19%）、講義1単位の時間数を現行の30時間から15時間にするなど時間数も縮小したこと（平均22%）。

今後のスケジュールは、学外の専門家へも目通ししてもらった上、7月21日の学科会議へ諮り、その学科会議議事録を添付し、カリキュラム改編案を文部科学省へ提出できればと考えている。

説明後議長から、カリキュラム改編に当たっては、8月末までに文部科学省へ提出予定とのことであるが、全学的な合意が必要であること、指定科目の問題、非常勤講師の

問題等もあり，学外の専門家にも見てもらう必要がある。また，担当教員一覧もまだ未提出であり，早急に対応願いたい旨発言があった。

続いて議長から，カリキュラム改編に当たり，次のとおり提案があり，了承された。

種々問題点はあるが，改編する方向で進めること。

平成18年度の見直しもあり得ることを含み，平成17年度実施に向け最大限の努力すること。

関係資料を整え，学外の専門家にも見てもらうとともに，医学部長とも十分に協議すること。

カリキュラムの改編内容等の最終的な判断は，学長一任とすること。

報告3 平成17年度概算要求について

三國理事から，資料資料8に基づき，等平成17年度概算要求に係る重点事項の概要について報告があった。

15の重点事項の概要は，次のとおりである。

学部・大学院等組織整備

- ・附属養護学校教員の整備（教育学部）ほか1件
教育改革
- ・教員養成学研究開発センターの新設（教育学部）ほか1件
研究推進 [戦略的研究推進経費]
- ・新領域「認知再生科学」の創出事業（医学部）ほか1件
研究推進 [大学間連携経費]
- ・地震火山噴火予知計画研究事業（理工学部）
連携融合事業
- ・三陸沖北部の地震における強震動放射領域の解明（理工学部）
特別支援事業 [教育研究高度化設備等]
- ・遺体防腐処置用クリーンシステム（医学部）ほか3件
特別支援事業 [医療機械設備]
- ・注射薬児童払出システム（附属病院）ほか2件

今後追加資料の提出要求も予想されるので，関係部局においてはその旨お含み置き願いたい。また，7月12日（月）に文部科学省においてヒアリングが行われた。

報告4 弘前大学組換えDNA実験安全管理規程の一部改正について

中澤理事から，資料8に基づき，遺伝子組換え生物使用等規制法の施行に伴い，所要の改正を行うとともに，字句の整理及び様式を整備するために改正した旨報告があり，改正内容について説明があった。

報告5 施設環境関連規則等の制定について

中澤理事から，資料9に基づき，国立大学法人弘前大学施設環境規則，国立大学法人弘前大学防火管理規程ほか10規程，国立大学法人弘前大学職員安全衛生管理細則ほか5細則，国立大学法人弘前大学安全衛生委員会内規ほか3要項等本学における施設環境関連規則等を制定した旨報告があった。

なお，関連して，4月7日～6月22日までの期間における文京町及び本町地区の各測定場所の構内下水排水pH異常件数について説明があった。

報告6 弘前大学出版会関連規程等の制定について

中澤理事から，資料10～12に基づき，次の規程等が制定（平成16年6月28日施行）された旨報告があり，規定内容等について説明があった。

なお、関連して、出版会設立記念として、本学所蔵のねぶた絵全作品を掲載した「津軽の華」を刊行する旨報告があった。

- (1) 国立大学弘前大学出版会規程
- (2) 弘前大学出版会運営委員会細則
- (3) 弘前大学出版会編集委員会細則

報告7 21世紀教育FD研修会について

矢島21世紀教育センター長から、資料13に基づき、「教養教育と高校教育との接点」をテーマに、21世紀教育FD研修会を下記により開催する旨報告があり、多数参加願いたい旨発言があった。

講演会

日 時 平成16年8月10日(火) 9:30~11:30
場 所 創立50周年記念会館みちのくホール

シンポジウム

日 時 平成16年8月10日(火) 13:00~15:00
場 所 総合教育棟大会議室

報告8 事務組織改革の基本方針について

昆理事から、資料14に基づき、事務組織改革の基本方針の概要について、次のとおり説明があった。

文京町地区における各学部の学務事務は、学務部(学生センター等を含む。)に集中・一元化する。

意思決定の迅速化、弾力的な組織運営等を図るため、「グループ制(組織のフラット化)」を導入する。

文京町地区における各学部長の補佐体制の強化を図るため、「事務長」を存続させる。ただし、事務長補佐は、配置しない。

効率的かつ効果的な組織機構の構築を図るため、新たに「課」は設置しない。

総合情報処理センターの事務は、学術情報部に移行する。

事務組織は、学生センターの設置と同時に改編する。

続いて大関理事から、学生センターの設置に伴う学務部の事務組織の概要について、次のとおり説明があった。

学生センターの設置に伴う学務部の事務組織については、4課6班とする。

課は、現行どおりで、班の組織は、教務課に「総務企画班」、「教務班」を、学生課に「学生生活支援班」、「キャリア支援班」を、入試課に「入試班」を、留学生課には「留学生支援班」を置く。また、各班には、「担当」という担当者を配置し、当該業務の処理に当たる。なお、具体的な職員数等については、今後検討する。

学生、教員への対応窓口及び対応内容は、資料のとおり考えている。

なお、本町キャンパスの学務関係事務は、従来どおり医学部学務課が行う。

報告9 委員会報告

(1) 21世紀教育センター運営委員会

矢島センター長(同委員会委員長)から、資料15に基づき、6月24日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

平成17年度21世紀教育科目実施体制

教育・学生委員会、FD広報専門委員会と高校教諭を交えた定期的な勉強会の検討

21世紀教育に対する点検・評価

12大学による学生授業評価の共通フォーマット作成プロジェクトへの参加

- 平成16年度北東北国立3大学単位互換（集中授業方式）実施要項
国際交流科目（日本語・日本事情）による単位の代替について
平成16年度北東北国立3大学単位互換（集中授業方式）実施要項について
- (2) 教育・学生委員会
大関理事（同委員会委員長）から、資料16に基づき、6月23日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。
全学教員養成担当の基本方針
弘前大学学生の懲戒に関する規程（案）
現代的教育ニーズ取組支援プログラム
平成16年度前期授業料免除者の選考結果
課外活動の振興方策
自転車の盗難事件等
- (3) 研究・施設マネジメント委員会
中澤理事（同委員会委員長）から、資料17に基づき、6月23日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。
施設マネジメントに係る規程（案）
弘前大学学長指定重点研究
知的財産創出本部
平成17年度施設整備費要求事項（案）
平成16年度海外先進教育研究実践支援プログラム
- (4) 社会連携委員会
久慈理事（同委員会委員長）から、資料18に基づき、6月21日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。
弘前大学東京事務所及び東京事務所分室使用心得（案）
東京事務所配置職員
コラボ産学官（東京事務所分室）第1回交流会
第3回産学官連携推進会議
- (5) 入学試験委員会
大関理事（同委員会委員長）から、資料20に基づき、6月23日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。
平成18年度以降の大学入試センター試験実施担当学部一覧
平成17年度大学入試センター試験実施担当学部各試験場の当初割当数等
平成17年度大学入試センター試験試験場設定

報告10 その他

- (1) ボルドー第三大学（フランス共和国）との大学間交流協定の更新について
大関理事（同委員会委員長）から、ボルドー第三大学との大学間交流協定を本年5月5日付けで更新した旨報告があった。
- (2) 総合文化祭について
大関理事（同委員会委員長）から、資料21に基づき、10月29日から31日までの期間で開催される総合文化祭の全学的企画、各学部企画の実施事業等について報告があった。
- (3) 次回開催日について
次回開催日を9月14日（火）とした。
なお、8月は緊急に開催する必要が生じた場合に開催することとし、特別なことがない限り休会することとした。

以上